

第 3 回
富士市総合計画審議会 第 3 分科会
議事録

令和 3 年 5 月 2 6 日(水) 午後 7 時 0 0 分～

富士市役所 8 階 政策会議室

【基本目標4 豊かな環境を保ち継承するまち について】

加藤会長 基本目標の4の修正案について事務局から説明がありましたが、皆様からご意見等ございますか。
土屋委員お願いします。

土屋委員 政策分野2の「自然・生活環境」において、現状と課題の2つ目を改善ではなく保全としたのはなぜか。

事務局 大気・水質環境基準達成率は全国の一般的な数値より高く、例えば大気基準で達成できていないのは達成困難な光化学スモックに関する項目であることなどから、現状数値を維持することが重要であると考え、保全という言葉を採用した。

【基本目標5 活力を創り高めるまち について】

加藤会長 基本目標の5の修正案について事務局から説明がありましたが、皆様からご意見ご質問ございますか。リモートの方もよろしいですか。

(質疑なし)

【基本目標6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち について】

加藤会長 基本目標の6の修正案について事務局から説明がありましたが、皆様からご意見等ございますか。土屋委員どうぞ。

土屋委員 政策分野1「観光」の施策の2「観光資源の活用」の3つ目にある「観光客等」という表現について、レジャーだけで捉えるならばこの表現でよいが、ビジネス訪問客も含めて観光交流客数を捉えるのであれば、「観光客やビジネスマン」という表現にしたらどうか。

事務局 ビジネス客の誘客については民間を中心に進めているところであり、今後市が行う取組として推進していく中では注視する必要があることから、「等」という表現の中でビジネス客も含めて表したいと考えている。また、

ビジネス訪問客については、施策の3の「観光インフラの整備」の中で「旅行者」という表現を用いているので、こちらでもカバーできると考えている。

土屋委員 「等」という表現の中にビジネスマンが含まれていると考える人はほとんどいない。
また、「等」という表現が重複しているので、どちらかに統一した方がよい。

深澤委員 グラフで示している宿泊客数の中にはビジネスマンも含まれているので、土屋委員の意見のとおりビジネスマンを明記してもよいのではないか。
富士山観光交流ビューローがビジネス客向けのちょい飲みツアーを行ったり、富士宮市でも同様の企画を行ったりする等、富士地域は観光だけではなくお客様を呼べないので、ビジネスマンも訪問客としておもてなしするという流れがある。

事務局 担当課と再度検討する。

加藤会長 その方向でお願いします。他にありますか。
意見がないようなので、事務局は本日の審議内容を踏まえて検討をお願いします。